

平成 31 年度

事業実績報告書

社会福祉法人 黎明福社会

目 次

1.	全般について	1
2.	介護老人福祉事業	2
3.	栄養管理事業	7
4.	通所介護事業	10
5.	訪問入浴事業	11
6.	訪問介護事業	12
7.	訪問看護事業	13
8.	短期入所生活介護事業	14
9.	居宅介護支援事業	16
10.	地域支援・貢献事業	17
11.	配食サービス事業	18
12.	生きがい元気センター	19
13.	軽費老人ホーム（ケアハウス）	20
14.	みすみ保育園	23
15.	養護老人ホーム松寿園	30

1. 全般について

平成31年4月1日に新元号が「令和」と発表された。新年度の始まりと共に高揚感を持ってスタートし、法人運営にとっても動きのある1年であった。

6月に評議員が1名辞任された事を受け、理事から評議員へ1名任命。新たに理事へ1名新任した。人事面でも、総務部長・在宅部長の定年に伴い、新たに総務次長・在宅次長を任命した。また、「働き方改革関連法」の施行に伴い、タイムカードを導入し、客観的記録に基づく勤怠管理を始めた。有給休暇については順調に取得している。

社会福祉充実計画に基づく職員育成事業については、資格取得に力を入れ、研修参加等に関して助成を行った結果、新たに介護支援専門員・社会福祉士が誕生。介護福祉士も複数の職員が合格した。資格既得職員の中では在宅部において主任介護支援専門員も新たに誕生した。さらに、深部までの喀痰吸引も園内研修等において、多くの介護職員が取得し、利用者の安心・安全な生活を支えている。また、高校・専門学校からの新卒求人の応募もあり、喜ばしい結果となった。ただ、職員の高齢化は喫緊の重要課題の一つである。今後は各学校への訪問等により連携を図る一方、雇用形態の見直し等の対策も進めていきたい。福利厚生面では、現在3人の職員が産前産後休暇を取得中である。春の叙勲において施設部長の高石邦英が瑞宝双光章を受章した。法人として二人目の受章者となり、全職員の励みとなる出来事となった。

先進福祉機器導入については、新たに介護ソフト「ほのぼの」を導入。業務省力化だけでなくペーパーレス化を図った。眠りスキャン等の介護機器も増台し、介護負担の軽減に繋げている。

医療施設事業及びサ高住・有料老人ホーム新築事業については、今後も継続して取り組み、実現に向けて取り組んでいきたい。宇土の有料老人ホームの譲渡については、理事会・評議員会等でも協議を重ねたが、総合的に判断した結果、取得に至らなかった。

単身高齢者のくらしの安心安全サポート事業及び配食サービス事業については、地域貢献事業として法人一体となって取り組んだ。利用者からのニーズは大きく、台風等自然災害時の避難場所としての役割と併せ、地域における拠点施設として大きな役割を担っている。介護保険外の事業ではあるが、将来的なサービス利用に繋がるよう、各種事業を展開しながら、住み慣れた場所で末永く生活できる支援を行っていきたい。

みすみ保育園は、遊具や遮光ネットの修繕等、安全面の強化だけでなく、感染症対策を充分に行い、安心感のある保育環境づくりに取り組んだ。ヨコミネ式教育も10年が経過した。園児の減少という問題はあるが、さらなる保育の質の向上に努め、安定した経営を図りたい。戸馳の公立保育園移譲については、市と事前協議を進めてきたが、定員の確保が非常に難しいと予想され、今後も市と協議し、対応していきたい。

松寿園は年間を通じ安定した定員を確保しているものの、入所者の高齢化及び重介護化が増しており、特別養護老人ホームへの入所申請をされる方が増えてきた。今後は入所待機者の確保も課題になってくる。将来的な建替えに向けても計画を進めている。

3年ぶりの監査も無事終了した。10月から「特定処遇改善加算」も取得し、介護職員にはより手厚い賃金形態となった。県内では、昨今高齢者虐待から死亡に至る事案も発生している。新型コロナウイルスも終息の目途が立たず、ストレスを感じやすい状況が懸念されるが、働きやすい環境で業務に専念できるような体制づくりに取り組み、社会福祉法人としての使命を全うしていきたい。

2. 介護老人福祉事業

平成 31 年度（令和元年度）実績について

活動及び行事に関してほぼ計画通りに実施出来た。地域交流行事として、5 月には湯殿川でのホテル見学を利用者、家族、スタッフ多数参加のもと実施した。9 月の御船地区の十五夜の集い、10 月の郡浦神社例大祭への参加も回を重ね、地域の方々から好評を頂いている。地域行事へ参加することで住民の方々との交流ができ、今後も継続していきたい。

施設内行事は、6 月に 34 家族 43 名参加（委任状 43 名）のもと、家族会総会を開催した。また、ユニットにおいては、鍋パーティー・たこ焼きパーティーなど、システムキッチンを備えたユニットの特性を生かした活動が行えた。スタッフの発案により 10 月に実施したハロウィンパーティーは、利用者の驚きと楽しさの交ざった表情が印象的で、利用者・スタッフが共に楽しい時間を共有する事が出来たと感じている。

11 月に予定していた施設部最大の行事である運動会は、風邪症状により実施出来ず、大変残念な結果となってしまった。また、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染対策の観点から、冬季以降、各種行事の開催を控えている状況である。活動や行事は、利用者に目と肌で季節を感じて頂く大切な機会であり、その重要性を強く感じている。新型コロナウイルスが早く終息し、諸行事や活動が再開できることを祈っている。

今年度は 34 名の退居があった。うち 21 名は「最期まで豊洋園で」と意向を示され看取り介護を行った。家族、スタッフが気持ちを一つに最期を看取ることで、安らかな顔で旅立たれていると感じている。なかには身体機能の回復から要介護 2 となり、在宅復帰となった方がおられ、現在短期入所・デイサービスを利用しながら在宅生活を謳歌されている。今後も在宅復帰を目指し介護力を高めていきたい。

スタッフ状況としては、介護職員における介護福祉士資格を持つ職員の割合が 6 割を超えた。また、勤続年数が 3 年以上を超える職員の割合は、約 8 割と定着率の高さが際立っている。夜勤帯においても認定特定行為業務従事者の資格を持つ介護職員を必ず配置しており、利用者の安全がより担保されるものとなっている。

また、利用者の安全確保、看介護職員の負担及びストレス軽減のもと介護ロボットの導入や、眠りスキャンを 3 台増台、ベッドから車いすへの移動用リフト、浴室の移動用リフト、各種介護センサーの設置を行った。また、監視カメラも、転倒後の検証やスタッフの導線の確認などに役立っている。

県内において、2 年連続で高齢者虐待（うち死亡に至る事例 1 件）が、全国に報道される事態となった現状を踏まえ、看介護負担の軽減、ストレスマネジメントの重要性を痛感している。その上で、個々人が認知症状に対する理解を深め、利用者が尊厳を持ちその人らしく暮らせる支援が出来るよう、継続的な研修も実施した。

介護老人福祉施設 豊洋園 入居者状況

(定員 60 名)

1. 「年齢・性別」

	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計	平均年齢
男	2人	5人	9人	3人	1人	20人	82.3歳
女	0人	6人	31人	28人	5人	70人	88.8歳
合計	2人	11人	40人	31人	6人	90人	87.4歳

2. 「出身市町村」

市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数
三角町	47人	不知火町	11人	松橋町	4人
小川町	1人	上天草町	16人	宇土市	6人
天草市	1人	八代市	2人	美里町	1人
熊本市	1人			合計	90人

3. 「要介護度」

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	0人	0人	25人	43人	22人
合計	90人		平均介護度	3.97	

4. 「在所期間」

	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上	合計	平均在所期間
男	11人	7人	0人	1人	1人	20人	1.94年
女	22人	25人	11人	12人	0人	70人	2.61年
合計	33人	32人	11人	13人	1人	90人	2.46年

5. 「面会」

	年0回	年1回	年2回～年5回	年6回～年11回	年12回以上	合計	平均
合計	5人	4人	18人	20人	43人	90人	15.9回

ユニット 豊洋 入居者状況

(定員 20 名)

1. [年齢・性別]

	60～69 歳	70～79 歳	80～89 歳	90～99 歳	100歳 以上	計	平均年齢
男	0人	1人	2人	0人	0人	3人	81.7歳
女	0人	2人	10人	9人	0人	21人	89.0歳
合計	0人	3人	12人	9人	0人	24人	88.0歳

2. [出身市町村]

市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数
三角町	16人	不知火町	2人	松橋町	1人
小川町	1人	熊本市	3人	福岡市	1人
				合計	24人

3. [要介護度]

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	0人	0人	9人	12人	3人
合計	24人		平均介護度	3.75	

4. [在所期間]

	1年未満	1年以上 ～ 3年未満	3年以上 ～ 5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上	合計	平均 在所期間
男	0人	2人	0人	1人	0人	3人	3.36年
女	5人	8人	3人	5人	0人	21人	3.30年
合計	5人	10人	3人	6人	0人	24人	3.31年

5. [面会]

	年0回	年1回	年2回 ～ 年5回	年6回 ～ 年11回	年12回 以上	合計	平均
合計	0人	0人	6人	5人	13人	24人	19.3回

行 事 実 績

	施 設 内 行 事		そ の 他
	多 床 室	ユ ニ ッ ト	
4 月	花見 花祭りの集い 天友会慰問 戸馳大橋見学	花見 花祭りの集い 天友会慰問 戸馳大橋見学 こいのぼり作成 紅白饅頭作り	熊本県議会議員選挙不在者投票
5 月	菖蒲湯 新茶会 母の日の集い 蛍見学	菖蒲湯 新茶会 母の日の集い 蛍見学	新任職員の防火設備設置場所及び消火栓、 消火器取扱説明会 緊急連絡訓練手順説明 及び緊急連絡訓練
6 月	父の日の集い あじさい見学	父の日の集い あじさい見学	家族会総会 震災・昼間想定総合訓練 消防設備点検（アクティブエレクト） 松橋西支援学校より実習
7 月	七夕の集い 故郷ドライブ 日本舞踊幸輝の会慰問	七夕の集い 日本舞踊幸輝の会慰問	参議院議員選挙不在者投票
8 月	盆帰省 盆供養(霊照寺住 職様来園)	盆帰省 盆供養(霊照寺住 職様来園) 夕食後茶話会	三角小学校ワークキャンプ 三角中学校ワ ークキャンプ 指導監査
9 月	花火大会 敬老の集い(合 同) 御船地区十五夜の集 い参加(合同) 100歳及 び長寿祝い会(合同)	花火大会 ユニット秋祭 り 敬老の集い(合同) 御 船地区十五夜の集参加(合 同) 100歳及び長寿祝 い会(合同)	入居者結核健診(済生会熊本病院健診セン ター) 職員健康診断(福岡健康管理センタ ー) 宇城市役所より敬老の祝い 小川町 民生委員会施設見学 夜間想定消防訓練
10 月	三角港アメリカ軍掃海艇 見学	三角港アメリカ軍掃海艇 見学 ハロウィンパーティー	消防機器取扱い説明 緊急連絡表手順説明 及び緊急連絡訓練 河野様観賞用菊貸与
11 月	焼き芋会	焼き芋会 白玉ぜんざい作り	昼間想定総合訓練 アクティブエレクト消 防設備点検 三角小学校ボランティア委員 会 松橋西支援学校より実習
12 月	冬至湯 クリスマス会	冬至湯 クリスマス会 鍋パーティー	
1 月	新年祝賀会 初詣 新春 茶会 七草粥 正月帰省 書初め 御船地区どんど や参加	新年祝賀会 初詣 新春 茶会 七草粥 正月帰省 書初め 御船地区どんど や参加	緊急連絡訓練
2 月	節分の集い お好み焼き作り	節分の集い お好み焼き作り	みすみ保育園交流会
3 月	ひな祭り撮影会	オムレット作り ひな祭り撮影会	健康診断(福岡健康管理センター) 熊本県知事選挙不在者投票
月例	ふれあい誕生会 ふれあい 外気浴 散歩 カラオケ 西山美容室 太田理容店	喫茶 茶話会 リフレッシュビューティー	介護用品清掃(3ヶ月に1回) 消防設備外観及び機能保守点検

研 修 実 績

	多床室	ユニット
4月		
5月	感染対策（腸管出血性大腸菌・疥癬虫・薬剤耐性菌・結核菌・緑膿菌・ESBL 産生菌・O-157）	感染対策（腸管出血性大腸菌・疥癬虫・薬剤耐性菌・結核菌・緑膿菌・ESBL 産生菌・O-157）
6月	緊急時対応 医薬品の安全管理について 身体拘束廃止の考え方 高齢者虐待防止について	緊急時対応 医薬品の安全管理について 身体拘束廃止の考え方 高齢者虐待防止について
7月	奥村アサエ様転倒対策について	
8月	松尾トミ子様転倒対策について	
9月	記録の書き方 褥創予防について	記録の書き方 褥創予防について
10月	プライバシー保護について	プライバシー保護について
11月		
12月	レビー小体型認知症について	レビー小体型認知症について
1月	法令遵守について	法令遵守について
2月	褥創予防について 拘縮予防について	褥創予防について 拘縮予防について
3月		
月例	吸引研修 喀痰吸引安全委員会 口腔ケア研修	吸引研修 喀痰吸引安全委員会 口腔ケア研修 ユニット会議

3. 栄養管理事業

	施設課				デイサービス	福祉サービス (デイ)	生きがい元気 センター	その他	配食サービス	ケアハウス	語ろう会	合計
	入居者		ショートステイ									
	一般食	経管栄養	一般食	経管栄養								
4月	6,389	286	1,118	87	815	174	306	95	836	2,392	54	12,552
5月	6,807	248	1,265	89	798	113	367	96	899	2,404	40	13,126
6月	6,682	215	1,190	59	814	99	376	130	793	2,433	46	12,837
7月	6,771	263	1,144	0	855	108	417	156	887	2,486	28	13,115
8月	6,610	242	1,480	0	811	92	366	234	929	2,563	25	13,352
9月	6,742	179	1,123	0	810	76	367	94	840	2,577	36	12,844
10月	7,124	186	1,163	0	951	84	412	93	888	2,521	33	13,455
11月	6,752	192	1,092	0	891	77	348	95	836	2,404	33	12,720
12月	6,910	144	862	0	877	69	289	97	724	2,365	43	12,380
1月	6,886	186	981	0	810	65	281	93	660	2,375	26	12,363
2月	6,648	174	993	0	821	63	327	87	713	2,199	27	12,052
3月	6,982	186	945	0	849	74	322	93	751	2,549	0	12,751
合計	81,303	2,501	13,356	235	10,102	1,094	4,178	1,363	9,756	29,268	391	153,547
前年実績	78,165	4,200	13,644	478	9,774	2,516	3,831	1,470	9,501	28,660	596	152,835
増減	3,138	-1,699	-288	-243	328	-1,422	347	-107	255	608	-205	712
前年対比	104%	60%	98%	49%	103%	43%	109%	93%	103%	102%	66%	100%

全体的な食数は前年度と比較してあまり変わりはない。施設課においては、前年度より経管栄養の方が減り、その分一般食の方が増加した。福祉サービス（デイ）の減少については、福祉からデイサービスへと移行された方が多かったと考えられる。また、語ろう会は徐々に利用数が減少しており、3月は新型コロナウイルスの影響により利用がなかった為、前年度より減少となった。

	施設入居者・ショートステイ食形態別給食数										
	普通食		粥食		ミキサー食		経管栄養		計		合計
	入居者	SS	入居者	SS	入居者	SS	入居者	SS	入居者	SS	
4月	2,620	614	2,677	414	1,092	90	286	87	6,675	1,205	7,880
5月	2,782	768	3,048	402	977	95	248	89	7,055	1,354	8,409
6月	2,318	709	3,199	437	1,165	44	215	59	6,897	1,249	8,146
7月	2,213	795	3,435	349	1,123	0	263	0	7,034	1,144	8,178
8月	2,320	1,137	3,127	336	1,163	7	242	0	6,852	1,480	8,332
9月	2,507	705	2,856	292	1,379	126	179	0	6,921	1,123	8,044
10月	2,716	598	3,019	418	1,389	147	186	0	7,310	1,163	8,473
11月	2,630	536	3,008	361	1,114	195	192	0	6,944	1,092	8,036
12月	2,568	576	3,178	196	1,164	90	144	0	7,054	862	7,916
1月	2,562	784	3,176	183	1,148	14	186	0	7,072	981	8,053
2月	2,482	584	3,063	409	1,103	0	174	0	6,822	993	7,815
3月	2,856	660	3,094	203	1,032	82	186	0	7,168	945	8,113
合計	30,574	8,466	36,880	4,000	13,849	890	2,501	235	83,804	13,591	97,395
前年実績	26,577	9,560	35,694	3,503	15,894	581	4,200	478	82,365	14,122	96,487
増減	3,997	-1,094	1,186	497	-2,045	309	-1,699	-243	1,439	-531	908
前年対比	115%	89%	103%	114%	87%	153%	60%	49%	102%	96%	101%

	デイサービス利用者食形態別給食数			
	普通食	粥食	ミキサー食	合計
4月	760	47	8	815
5月	752	45	1	798
6月	772	41	1	814
7月	820	35	0	855
8月	774	37	0	811
9月	780	30	0	810
10月	876	75	0	951
11月	819	72	0	891
12月	799	78	0	877
1月	768	42	0	810
2月	777	44	0	821
3月	799	50	0	849
合 計	9,496	596	10	10,102
前年実績	8,870	818	86	9,774
増 減	626	-222	-76	328
前年対比	107%	73%	186%	103%

4. 通所介護事業

要支援・介護1～介護5

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
個別機能訓練	749	734	758	790	752	751	863	803	791	741	756	779	9,267
健康チェック	819	803	819	859	816	814	954	896	881	813	825	853	10,152
入浴（一般浴）	768	761	768	810	782	768	888	827	828	743	753	795	9,491
送迎減算	10	18	7	11	26	30	41	33	19	20	21	14	250
給食	815	798	814	855	811	810	951	891	877	810	821	849	10,102
月間利用延人員	819	803	819	859	816	814	954	896	881	813	825	853	10,152

月	総合事業	要介護					合計	福祉
		1	2	3	4	5		
4月	0	326	309	142	38	4	819	174
5月	0	353	277	138	31	4	803	113
6月	0	351	272	127	64	5	819	99
7月	0	360	286	147	62	4	859	108
8月	0	300	296	158	57	5	816	92
9月	0	321	291	134	64	4	814	76
10月	0	377	328	163	83	3	954	84
11月	0	345	319	136	91	5	896	77
12月	0	319	334	133	91	4	881	69
1月	0	313	321	113	63	3	813	65
2月	0	294	349	116	62	4	825	63
3月	0	331	330	133	49	10	853	74
合計	0	3,990	3,712	1,640	755	55	10,152	1,094

要支援認定者の総合支援事業への移行より、5年振りに延利用者数が10,000回を超えることとなった。利用者数の増加の一因として、福祉利用者（要支援認定者）の介護負担増に伴う要介護認定を受ける方が増加していることが挙げられる。昨年度と比較しても福祉での利用者数は減少し、逆に要介護認定での新規契約数は増加している。また、利用者数の75%以上を要介護1、2の認定者が占めており、長期での利用に繋がるよう利用者の自立支援に向けたサービス提供に努めていく。

5. 訪問入浴事業

	A様	B様	C様	D様	E様	合計
4月	4	9	4	5	5	27
5月	5	9	5	4	4	27
6月	3	8	4	4	4	23
7月	4	9	4	5	5	27
8月	5	6(2)	5	2	4	22(2)
9月	2(2)	3(5)	4	4	4	17(7)
10月	3(1)	2(4)	4	2	5	16(5)
11月	5	3(1)	5	4	3	20(1)
12月	3(1)	5	4	5	5	22(1)
1月	4	2(2)	2	4	3	15(2)
2月	4	3(1)	3	4	3	17(1)
3月	4	5	4	5	5	23
合計	46(4)	64(15)	48	48	50	256(19)

※()内の数字については、部分浴での提供数となる。

各利用者ともに長期の入院もなく、年度を通して安定した利用回数が維持できた。現在、週2日稼働しているが、利用実績は月平均20回以上であり、小規模事業所加算の対象外となる。今後も利用者の体調管理を徹底し、安全なサービス提供と安定した稼働率を目指していく。

6. 訪問介護事業

	訪問介護		予防介護		障害福祉		福祉		合計	
	利用延べ回数	利用者数	利用延べ回数	利用者数	利用延べ回数	利用者数	利用延べ回数	利用者数	利用延べ回数	利用者数
4月	514	41	62	15	32	1	44	16	652	73
5月	499	40	81	18	32	1	51	14	663	73
6月	481	41	84	19	32	1	45	14	642	75
7月	561	42	74	16	32	1	39	14	706	73
8月	560	43	74	17	32	1	34	12	700	73
9月	564	46	76	18	32	1	49	13	721	78
10月	614	47	78	17	32	1	36	12	760	77
11月	588	47	70	17	28	1	28	11	713	77
12月	575	45	71	17	32	1	26	10	704	73
1月	600	44	70	17	32	1	32	13	734	75
2月	568	46	65	18	32	1	32	13	697	78
3月	629	46	71	18	32	1	43	12	775	77
合計	6,753	528	876	190	380	12	459	154	8,467	902

前年度に比べ実績は利用回数・利用者数共に増加している。新規や、複数回利用の方の増加によるものである。しかし総合事業においては、更新や支援内容のチェックが厳しくなり週1回が基本になった。また、居宅介護支援事業所との連携を図り、利用者が安心して在宅生活が送れるように支援していく。

利用延べ数・前年比 +1,170回 利用者数・前年比 +58名

7. 訪問看護事業

月	利用件数					訪問回数				
	介護保険		計	医療 保険	合計	介護保険		計	医療 保険	合計
	要支援	要介護				要支援	要介護			
4月	0	7	7	5	12	0	33	33	55	88
5月	0	6	6	5	11	0	31	31	54	85
6月	2	5	7	5	12	8	22	30	53	83
7月	2	5	7	5	12	11	19	30	59	89
8月	2	5	7	6	13	18	27	45	56	101
9月	2	6	8	5	13	14	32	46	69	115
10月	1	8	9	5	14	9	38	47	44	91
11月	1	7	8	5	13	9	33	42	59	101
12月	0	7	7	6	13	0	42	42	67	109
1月	0	6	6	5	11	0	34	34	61	95
2月	0	6	6	5	11	0	34	34	59	93
3月	0	5	5	4	9	0	28	28	60	88
計	10	73	83	61	144	69	373	442	696	1,138

前年比として、訪問登録者数-9、訪問回数+57であった。今年度、利用登録者は減少しているが、複数回利用の方が増加しており、訪問回数の増加に繋がったと思われる。医療保険利用の方が増加していることも、今年度の特徴である。医療機関との連携と信頼の関係の構築に力を入れた結果、新規の依頼を頂いた。今後も更なる努力を重ねていく。

8. 短期入所生活介護事業

	多 床 室				ユニット				総 合 計	
	要介護		介護予防		要介護		介護予防			
	実人数	延べ回数	実人数	延べ回数	実人数	延べ回数	実人数	延べ回数	実人数	延べ回数
4月	29	418							29	418
5月	33	458			1	3	1	8	35	469
6月	29	430			3	26			32	456
7月	33	422			1	30			34	452
8月	32	478			2	17	1	5	35	500
9月	30	413							30	413
10月	32	448							32	448
11月	31	402	1	2					32	404
12月	29	309	4	26					33	335
1月	29	354	2	11					31	365
2月	28	353	1	6					29	359
3月	27	328	2	11			1	5	30	344
合計	362	4,813	10	56	7	76	2	18	381	4,963

短期入所生活介護・介護予防事業について

ショートステイは平成28年12月より利用定員を12床から17床へと定員幅を増床し、より柔軟に利用者の希望に添える体制となっている。

延利用者数は、平成31年度（令和元年度）延4,963名（利用率80%）、平成30年度延5,032名（利用率81%）、平成29年度延5,123名（利用率82%）と微減、減収という結果となった。11月までは前年比110%と利用増で経過していたが、11月の風邪症状の蔓延、3月に入り新型コロナウイルス感染対策などの影響から、昨年比99%という結果となった。

受け入れ状況として、要介護・要支援となり、在宅生活を送られている一人暮らしの方

の在宅生活継続の為の支援、入院後の在宅復帰に向けた支援、ご家族の介護負担軽減や冠婚葬祭・病気による一時的な支援など、そのニーズに応じ出来る限り、その要望・日時に応じたサービスの受け入れを行った。

また、多様なサービスを利用して在宅での生活が困難となり入所を望まれる方に、入所が整うまでの間、長期的なショートステイを利用頂く事で、本人及びご家族が安心して暮らせるように支援を行っている。その中で入所待機者2名、養護老人ホーム待機者1名、急変で2名の方が亡くなられた。「出来るだけ住み慣れた地域で最期まで暮らしたい」という本人様の意向と共に、介護者である家族も高齢であり、自宅近くの施設入所を望まれるケースが多い。宇城市の南端に位置する三角地区は高齢、過疎の進む地区であり、他に中重度者を受け入れる施設が少ないことから長期でのショートステイを受け入れている現状である。その結果、ショートステイ利用期間中に亡くなられる方が多くなっていると分析する。

利用者が出来る限り住み慣れた地域で在宅生活の継続ができるよう、居宅介護支援事業所や、地域包括支援センター、関係市町村、その他保険・医療・福祉サービスと情報を交換・共有し、密接な連携を図った。また、居宅介護支援計画に基づき施設介護計画を作成し、看介護・機能訓練及び栄養課スタッフ間でケアの統一を行い、利用者への支援を実施した。

支援にあたっては、利用者の心身の特性を踏まえ、その方がその方らしく、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、また家庭での生活がより長く継続出来るよう、多職種間で協働しサービスの提供に努めた。

利用時は家庭での生活情報を収集し、また、退居時は園での生活や身体状況をお伝えすることで、本人及び家族との情報交換を密に行った。定期的に利用される方はもとより、緊急的な受け入れの方においても、利用者・ご家族との関係の構築を図ることで、より安心してショートステイをご利用頂けるよう配慮した。

住み慣れた地域で、住み慣れた我が家で最期まで暮らして頂き、ご家族と共に出来るだけ長く生活出来る為の支援を行っていきたいと考える。

9. 居宅介護支援事業

前年度に比べ新規の数が増えた。傾向としては介護度が高い方は退院からショートステイを利用し施設入居となる場合や在宅復帰後に逝去される方など、受け持つ期間が短くなっている。短期間での変化のご家族との関係性など状況に応じた対応と医療や多職種との連携に、介護支援専門員としての立ち位置を考慮し支援している。

また、ご利用者を取り巻く課題はご本人だけの問題ではなく、様々な相談を受け介護支援専門員として多方面に渡る知識が必要と感じている。今後、人口減少に伴い在宅介護が減少していく傾向にある中、「最期まで地域で暮らす」事ができるよう、家族・各事業所・地域と協力していく。

平成31年度 実績報告

介護度別請求数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	49	50	49	49	45	45	47	45	50	50	45	43	567
要介護2	33	33	34	35	39	38	44	45	44	43	46	45	479
要介護3	22	23	25	25	25	25	25	28	21	23	23	24	289
要介護4	12	12	15	14	14	13	15	16	13	14	13	14	165
要介護5	1	1	1	1	2	3	3	2	1	1	1	3	20
月遅請求件数		(2)	(4)			(2)	(4)	(2)			(1)	(2)	(17)
合計	117	119	124	124	125	124	134	136	129	131	128	129	1,520

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規介護	7	2	5	8	3	7	5	9	4	2	5	5	62
入院	8	5	7	9	7	9	7	10	13	12	12	11	110
長期休	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	3	15
施設入所	2	2	2	1	3	1	3	2	2	0	3	3	24
死亡	2	0	2	0	1	2	0	4	2	3	2	0	18
区分変更	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3	3	0	9
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2

質の向上への取組み	
ケース検討会	50
支援センター勉強会	24
カンファレンス参加	70
サービス担当者会議	204

集中減算提出書類作成	
全事業所 対象	3月 9月 年2回

10. 地域支援・貢献事業

【安否確認事業】

平成 31 年度 実績報告

	H31 年 4 月	R1 年 5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
古 場	20	16	16	20	16	20
大 口	0	0	0	0	0	0
底 江	3	3	3	3	4	3
郡 浦	4	5	4	4	3	3
計	27	24	23	27	23	26

10 月	11 月	12 月	R2 年 1 月	2 月	3 月	合計
16	16	20	16	12	16	204
0	0	0	0	0	0	0
3	3	6	4	1	3	39
4	5	4	4	4	3	47
23	24	30	24	17	22	290

平成 29 年 10 月から取り組んできた事業であるが、地域の高齢化が進む中、高齢者夫婦や独居者への事業拡大が今後の課題である。地域の高齢者を支えられる事業として広報活動を実施していき、地域の方々が安心して生活が出来るよう支えていく事業として確立していきたい。

【高齢者買物支援事業】

1、利用者状況

年間利用計画（6 月・9 月・12 月・3 月）

R1 年 8 月 11 日実施 ・東港 1 名 ・古氷団地 1 名 ・戸馳 1 名
 ・郡浦 2 名 ・古場 1 名 計 6 名

R1 年 12 月 15 日実施 ・戸馳 1 名 ・東港 1 名 ・際崎 1 名
 計 3 名

平成 30 年 12 月から事業を開始した。6 月 30 日に予定していた買い物支援については、当日大雨の天候不良にて延期し 8 月 11 日に実施した。また当初の予定では 9 月も予定であったが、8 月に実施したため 12 月に行った。3 月については新型コロナウイルスの影響もあり、感染予防のため中止した。毎回数名の利用に留まっており、今後どのような内容で事業を展開していくかが課題である。

1 1. 配食サービス事業

	31年度実績	30年度実績	増減	前年対比
4月	836	668	168	125%
5月	899	771	128	117%
6月	793	834	-41	95%
7月	887	823	64	108%
8月	929	782	147	119%
9月	840	788	52	107%
10月	888	928	-40	96%
11月	836	863	-27	97%
12月	724	753	-29	96%
1月	660	730	-70	90%
2月	713	734	-21	97%
3月	751	827	-76	91%
合計	9,756	9,501	255	103%

前年度と比較すると全体的な食数はやや増加しているが、月ごとにみると増減を繰り返しながら減少してきている。以前からの利用の方が高齢になられ利用回数が少なくなったり、施設入居になられる事が一つの要因と考えられる。一方で利用者の子ども世代からの見守りを兼ねた、配食サービスのニーズはあるため、今後も継続的な利用に繋がるように努める。

12. 生きがい元気センター

	件数
4月	306
5月	367
6月	376
7月	417
8月	366
9月	367
10月	412
11月	348
12月	289
1月	281
2月	327
3月	322
合計	4,178

昨年度と比較して延300回以上の利用増加が見られた。一方で高齢となり、病気や怪我等で介護を必要とする状態になる方の割合も増加しており、そういった方々が新たに要介護認定を受け、通所介護事業への移行となっている状況でもある。今後も新規利用者の獲得を目指し、さらなる生きがい元気センターの利用拡大を図っていく。

1 3. 軽費老人ホーム（ケアハウス）

1 支援体制について

恵まれた自然環境の中、人として尊厳のあるその人らしい暮らしが継続でき、安全で安心できる日常生活が確保できるように努めた。しかし、既往症の重症化で永眠された方、要介護度が重くなり特別養護老人ホームへ転居された方、ご家族の都合によりご自宅へ転居された方等、高齢者施設であるがゆえに生じる課題であると考える。

身体的・精神的に自立した生活が継続して営まれるよう、地域包括支援センターや居宅介護支援センターとの連携を図り、在宅サービスの提供により生活をサポートした。満床に至ったのは2ヶ月に過ぎず、2人部屋の欠員が年度を通しての課題であった。

平成31年度 入居者 12名 退居者 10名

2 入居者からのご意見について

月に1回の「コーヒータイム」の中で、月の行事・施設からのお願い・利用者からのご要望等、気軽にお声を伺える時間を設けた。皆様に配布する行事予定表には、色塗りをして頂き楽しんで頂いた。利用者の思いをしっかりと受け止め、充実した内容となった。また、顧客満足度満足度アンケートを実施したところ、殆どの方が満足のいく生活が出来ているとの回答を頂いた。しかし、全てにおいて高評価ではなかった事を反省すべき点としてしっかりと受け止め、今後の対応に努めていきたい。

3 季節の行事と各活動について

四季折々の風情を大切にすることを忘れることなく、楽しみや思い出づくりに取り組んだ。地域のボランティアの協力を頂き、ふれあい喫茶を継続して実施した。グルメの旅や多くの活動行事や交流の機会を通して、元気と笑顔が絶えない施設であるよう努めた。

活動状況については、別紙の通りである。

4 安全・衛生面について

年2回の衛生点検、月1回の業者による害虫駆除を実施した。居室の衛生状況の確認を行う事によって、利用者の衛生面に対する意識の高揚が図られ、施設内の環境衛生の充実が保たれた。関心が薄い方へは説明を行い、訪問介護等のサービスの介入を促した。年3回の消防訓練は、支障がない限り利用者全員の参加のもと実施した。避難経路の確認・火災に対する認識を高めた。また職員は、火災に対する認識と迅速な消火活動、より安全な避難誘導の徹底に努めた。喫煙者においては、特定の場所での喫煙を促した。

5 食事について

年2回の嗜好調査を参考に、家庭的な雰囲気の中で、美味しく食べやすい、栄養のバランスが取れた食事を提供した。行事食・バイキング・手作りの弁当・クッキングデイ・おやつ作り等、食べる事への楽しみを多く取り入れた。

特に、ケアハウスの畑で収穫した玉ねぎ・かぼちゃ・さつまいもは、クッキングデイ等に使用し、とても好評であった。食中毒の予防・衛生面を考え、食事前の手洗いの徹底と手指消毒の活用を継続している。

6 生活について

ケアハウスにも温泉が分湯されており、血行の改善や不眠の解消等の効能があり、とても好評である。生活の中の一部となっているレクリハは定着し、利用者自らの声かけで始めておられる。利用者へ参加を促す事で、居室閉じこもりを防ぎ、身体的・精神的機能の低下防止に努めた。脳いきいき勉強会では、簡単な計算・間違い探しなどを取り入れ、頭の体操にも積極的に参加して頂いた。月1回の書の道や茶の湯、週1回のショッピングは、定着し楽しみの1つになっている。尚、参加されない方への買い物依頼にも応じている。また、日用雑貨・食品・魚屋・ヤクルト等の移動販売により、自分で選んで購入する機会が増え、とても好評である。

7 健康面について

毎食時、状況観察に加えて週1回の血圧測定・月1回の体重測定を行い、常に入居者の健康状態の把握と異常時の早期発見予防に努めた。定期健康診断を実施し再検査・加療の必要な方には、かかりつけ医師と連携し、安心した生活ができるよう努めた。みすみ歯科クリニックによる「口腔ケア」についての勉強会によって、歯磨きの大切さをより認識して頂いた。感染症対策については、特に流行時期前には全入所者の予防接種の実施、手すり等の消毒及び外出時のマスク着用による予防の徹底を図った。3月には新型コロナウイルス感染症が日本のみならず全世界に広がりを見せた為、毎朝の検温や外出規制等による感染予防に努めた。

8 その他

年4回の季刊誌の発行に併せ、ご家族への近況報告を行い関わりを深めた。また、身体面や精神面の変化時には、必ず連絡を入れ報告を行った。今年度も「エンディングノート」作成を継続し、自身の命に向き合う機会を設けた。

要介護認定時の訪問調査には必ず同席し、ご家族に代わりご本人の生活上の変化など報告した。また、担当者会議において、自立面に重点をおいた計画になるように、常にご本人の立場に立って参加した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入居者総数	28	28	29	29	30	30	28	29	28	28	28	29	
男性	8	8	8	8	9	9	8	9	8	8	7	6	
女性	20	20	21	21	21	21	20	20	20	20	21	23	
入居者平均年齢	86.7歳	86.7歳	86.9歳	87歳	86.9歳	86.9歳	87.2歳	86.7歳	86.2歳	86.3歳	86.3歳	85.2歳	
介護保険認定	16	15	16	16	17	17	17	18	18	19	18	22	
生きがい 元気センター	3	3	4	4	4	4	2	2	1	1	1	0	
レツツリハビリ	16	14	12	14	12	0	15	17	9	0	11	11	
ショッピング	43 (10.7)	51 (10.2)	31 (10.3)	36 (9.0)	33 (8.2)	40 (10)	43 (10.7)	20 (7.0)	30 (7.5)	41 (8.2)	19 (4.8)	7 (7)	
季節の行事	基本健診 24	つつじ花見会 21	父の日の集い 21	七夕の集い 23	納涼花火会 22	阿弥陀如来 建立記念 18	ミニミニ 運動会 27	小旅行 13	餅つき 5	新年祝賀会 26	節分の日 の集い 16	昼食懇談会 22	
	ツフむき 16	母の日の集い 22	みすみ保育園 交流会 14	おやつ作り 4	グルメの旅 13	敬老の日 の集い 28		おにぎり弁当 作り 5	クリスマス パーティー 25	初詣 12	みすみ保育園 発表会見学 9	ひなまつりの 集い 18	
	花植え 4		グルメの旅 13			体育祭作品 作り 11		干し柿作り 9	年忘れゲーム 大会 15	どんどこや 7	もち作り 3	桜花見会 23	
			口腔ケア 講演会 17							年越しそば 作り 5			
	ふれあい喫茶 10	カラオケ 13	ふれあい喫茶 12	ふれあい喫茶 14		ふれあい喫茶 12	ふれあい喫茶 10	カラオケ 9			カラオケ 12	カラオケ 10	カラオケ 13
《サークル》総人数	訪問理容 8		訪問理容 5		訪問理容 5		訪問理容 9		訪問理容 5		訪問理容 5		
書の道	4	4	3	5	3	4	5	3	0	4	4	3	
茶の湯	17	12	16	0	16	15	15	18	12	18	0	21	
衛生タイム	0	7	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
コーヒータイム	19	19	21	14	20	14	16	16	17	13	18	0	
クッキングデイ	5	5	6	4	4	4	4	0	7	0	4	4	
脳イキイキ勉強会	15	13	15	12	6	15	17	13	12	16	11	15	
レクリハ	102	102	78	122	39	77	87	86	71	118	74	129	
合同活動	天竜会慰問 18 不在者投票 25			幸輝の会 14 不在者投票 27	盆供養 20		みすみ保育園 交流会 17					みすみ保育園 交流会 14	
訪問調査		大谷千枝子	井尾幸夫	小山セイ		井上正彦	谷川トシ子			浦津キミ子	直江キエ子	小川笑子	
		帆足隆治	古川紀二	池田金次		井上 忍	川口ハナ子			小山セイ	宮村房子	松本時男	
		西田玲子											
		岩崎恵美子											

平成 31 年度 みすみ保育園行事实績

	行 事 名	そ の 他	入所 児童数
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園・進級式 ・降園時面接相談 		71 名
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・いも苗植え ・幼児交通安全教室 ・お見知り親睦会 ・園児健康診断 		73 名
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴーヤグリーンカーテン苗植え ・衣替え ・歯科検診 ・梅干し作り ・歯科教室 ・七夕飾り付け ・ケアハウス交流会 ・プール開き 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角小連絡会（授業参観） ・尚綱短大栄養実習 	75 名
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・宇城地域療育センター育児相談 ・園児尿検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回役員会 ・三角小連絡会（保育参観） ・上小連絡会（保育参観） 	75 名
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり ・児童クラブ宮田農園 ・児童クラブ人権学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・青海小連絡会（保育参観） 	75 名
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・第 48 回運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角中職場体験（2 名） ・芋つる上げ ・第 2 回役員会 ・運動会予行練習、準備（役員） ・職員健康診断 	75 名
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・芋ほり・園外保育・衣替え ・松寿園運動会 ・天城橋イベント ・園児健康診断・豊洋園交流会 ・済生会みすみ病院健康フェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備点検 ・遮光ネットワイヤー修繕 ・三角小就学時健診 	76 名
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動（年長児） ・監査 ・幼年消防募金活動 ・みかん狩り遠足 ・保育参観、子育て講演会 ・サッカー巡回指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワックスがけ ・阿村小、青海小就学時健診 ・不知火小、上小就学時健診 	76 名
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・もちつき ・J R 三角駅 120 周年 ・クリスマス会 		77 名

	行 事 名	そ の 他	入所 児童数
1月	・発表会全体練習（三角センター）	・第3回役員会 ・三角センターへの道具運搬 （役員）	76名
2月	・JAふるさと感謝祭 ・豆まき ・発表会リハーサル ・第48回保育発表会 ・宇城地域療育センター育児相談 ・豊洋園交流会 ・4園5才児交流会	・三角小、青海小一日入学 ・上小、不知火小、豊川小一日 入学 ・三角小連絡会 ・青海小連絡会 ・青照館実習生受け入れ	76名
3月	・修了記念写真撮影 ・消防総合訓練 ・お別れ遠足 ・新入園児説明会 ・修了式 ・卒園式	・第4回役員会 ・消防設備点検 ・上小連絡会	77名

月例として、避難訓練、交通安全教室、布団持ち帰りがあり、誕生会は2カ月に1度行っている。また職員会議を月1回、クラスミーティング、非常勤職員ミーティングを必要に応じて行い、毎朝の朝礼等で職員の共通理解、意識、質の向上に努め、安全で安心できる保育を心がけている。

◎保育活動の実践について

それぞれの子どもの発達段階や発育状況に留意し、保育士の愛情と知性と技術とが一人ひとりの子どもの十分に受けられるよう配慮しながら、保育計画に沿って実践する。なお実践にあたっては全ての活動領域において、子どもが自主的自発的に取り組めるような環境の設定に留意する。

養護の面においては、乳幼児の適切な対応に十分配慮し、必要に応じて保健だより等を発行した。衛生面には特に注意を払い、万全を期した。

ヨコミネ式では、「子ども達の将来に役立つために」をモットーに、持てる力を最大限に出せるよう取り組む。毎日の走り込みと体操で「体の力」を身につけ、読み書き計算で「学ぶ力」を、自分で失敗しながら「やれば出来る」という気持ちで「心の力」を育て、「頑張ることが楽しい！」と思える保育を行っている。

◎職員研修について

4月1日に全職員参加しての保育計画立案と年間計画、感染症、衛生管理、事故防止、防災マニュアルの読み合わせ、職員心得の確認などを行う。また、年間を通して保育協会や社協、その他専門分野の研修、キャリアアップ研修など、各職員で分担して参加した。復命書や全体会議等で共通理解を図る。

その他、7月と2月に宇城地域療育センターから療育相談員の先生方が来られ、在園する子どもに関するケース会議、カンファレンス、保護者の育児相談が行われ、その後の保育に大変役立っている事が出来た。

◎保健安全等について

保健については、計画に基づき園児の健康診断を年2回(5月、10月)、歯科健診を1回(6月)、尿検査を1回(7月)実施した。また身体測定を毎月実施した。9月には年中、年長児を対象に歯科衛生士による歯科教室が行われた。また、フッ素洗口も4月より開始、きれいで強い歯を目指す。職員健康診断は9月に実施した。検便については、全職員毎月行った。

給食については、宇城保健所の指導に基づき、園児の健康・発育等に留意し献立を作成した。必要な栄養量の確保と嗜好を生かした調理に配慮して実施した。食物アレルギーに関する調査も行い、該当園児には除去食の提供に努めた。また肥満傾向にある園児については栄養士が資料を作成し、保護者へ注意点を伝え、食生活の改善を促した。

安全については、毎月の避難訓練、交通安全教室を通して、全職員が危機管理意識を常日頃から持つよう心掛ける。5月に交通安全協会の指導員による幼児交通教室を実施した。年度末には西分署より来園され、消防総合訓練が行われた。避難の状況を見ていただき、消防講話、消火訓練も行った。

◎保育環境の整備について

園庭遊具の修繕、園庭入り口のバイオクッションの敷き替え、台風被害による遮光ネットの修繕等を行い、安全面を強化した。また加湿空気清浄機を追加購入し、保育室内の衛生面にも配慮した。2月後半より新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、消毒液等の備品補充と保育室内外の定期的な消毒清掃、換気等を十分に行い感染予防に努めた。

<月別園児数内訳>

定員 70名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数	71名	73名	75名	75名	75名	75名	76名	76名	77名	76名	76名	77名
管内	59名	61名	62名	62名	62名	62名	63名	63名	64名	64名	64名	65名
標準	49名	48名	49名	49名	49名	49名	51名	51名	52名	54名	53名	54名
短時間	11名	10名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	10名	11名	11名
広域	12名	12名	13名	13名	13名	13名	13名	13名	13名	12名	12名	12名
標準	11名	11名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名
短時間	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	0名	0名	0名

平成 31 年度 みすみ保育園児童クラブ事業報告書

1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用児童数	316	345	373	371	366	344	353	324	266	270	288	174	3,790
保育日数	24	22	25	26	26	24	25	24	24	23	23	25	291
登録者数	25	24	24	26	34	23	22	22	21	21	21	20	283

2. 行事報告

- ・ 8/3 (土) 園の夏祭りに参加する。そうめん流しやバザー、花火等を楽しんだ。
(45名参加)
- ・ 8/20 (火) 夏休みお楽しみ会に参加する。夏休みに活動を頑張ったご褒美として、「宮田農園」にて食の体験を行う。
(28名参加)
- ・ 9/23 (月) 園の運動会に参加する。開会式のプラカード持ちや、徒競争、技巧走「大玉ころがし」に参加する。
(15名参加)

※ヨコミネ式のそろばん検定には、多数の児童クラブ員が参加。コツコツと級を取得し、年度末には3年生1名が2級に合格した。

平成 31 年度 三角子育て支援センター事業報告

1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
わいわい広場 参加者数	31	24	24	34	19	24	23	32	19	22	11	7	270
講習会等 参加者数	20	43	30	26	34	42	46	21	33	26	31	0	352
地域支援活動	70	44	46	53	58	38	36	40	44	44	54	14	541
育児相談	1件	1件	3件	2件	2件	1件	3件	1件	1件	2件	1件	1件	19件
開設日数	20日	19日	20日	23日	22日	21日	23日	21日	20日	20日	20日	22日	251日
利用者合計	121	111	100	113	111	104	105	93	96	92	96	21	1,163

2. 活動報告 ☆わいわい広場は、週5日開所 (月～金 9時～14時)

	講習会・イベント活動	乳幼児健診支援
4月	・手形アート ・親子ビクス ・こいのぼり製作	・乳児健診 ・1才半健診 ・2才児健診
5月	・誕生会&絵本サークル ・出前保育 ・宮田農園 ・ベビーヨーガ	・乳児健診 ・3才児健診
6月	・ボディートーク ・デコパージュ ・親子クッキング・音楽あそび	・乳児健診 ・2才児健診 ・1歳半健診
7月	・親子ビクス ・プール ・出前保育 ・誕生会 ・手作りうちわ	・乳児健診 ・1才半健診 ・3才児健診
8月	・はがき作り ・音楽あそび ・プール ・親子クッキング	・乳児健診 ・2歳児健診 ・3才児健診
9月	・誕生会 ・子育てランド ・おもちゃ作り	・乳児健診 ・2才児健診 ・3才児健診
10月	・ハロウィン ・クッキング ・親子ビクス ・ベビーヨーガ	・乳児健診 ・1才半健診 ・3才児健診
11月	・誕生会&絵本サークル ・ボディートーク・クリスマス製作	・乳児健診 ・1才半健診
12月	・クリスマス会 ・音楽あそび ・もちつき	・乳児健診 ・2才児健診 ・3才児健診
1月	・お面作り ・寄せ植え ・誕生会	・乳児健診 ・1才半健診 ・2才児健診
2月	・豆まき ・親子クッキング ・お雛様製作 ・ボディートーク	・乳児健診 ・2歳児健診 ・1才半健診 ・3才児健診
3月	※新型コロナにより中止	・乳児健診

平成 31 年度 みすみ保育園一時保育事業報告

1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用 児童数	4	1	4	3	5	4	2	2	2	4	7	2	40
利用 日数	20	2	12	20	20	18	16	7	3	51	30	19	218

2. 利用理由

- ・里帰り出産（県外等、多方面からの利用が多かった）
- ・不定期の就労

15. 養護老人ホーム松寿園

令和2年3月31日現在

入所者状況報告

1. 年齢・性別

	60～69	70～79	80～89	90～100	100～	平均年齢
男	0	4	5	2	0	82
女	2	4	20	14	0	85.7
合計	2	8	25	16	0	84.9

2. 入所者措置市町村

	宇城市	宇土市	美里町	阿蘇市	合計
措置人数	45	1	4	1	51

3. 介護保険認定状況

	非該当	支援1	支援2	合計		
人数	22	0	1	23		
	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
人数	10	12	5	1	0	28

4. 入所期間

	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上	合計
男	0	3	5	2	1	11
女	5	12	4	13	6	40

5. 介護サービス利用状況

	29年度利用者数（1週間の延利用数）	30年度利用者数（1週間の延利用者数）	31年度利用者数（1週間の延利用者数）
ケアマネジャー	23	21	28
通所介護	21（56回）	16（43回）	23（60回）
訪問介護	11（17回）	12（23回）	15（24回）
生きがい元気センター	2（4回）	4（7回）	9（11回）

6. 入退所状況

	平成31年4月	令和1年5月	6月	7月	8月	9月
入所数	0	1	2	0	0	0
退所数	0	1	1	0	0	0
	10月	11月	12月	令和2年1月	2月	3月
入所数	0	1	1	0	0	0
退所数	0	2	0	0	0	0

行事实績報告

	施設内行事	行事食	その他
4月	定例常会、法話、ショッピング、クラブ活動、官軍墓地慰霊祭、不在者投票、花見	花見弁当	訪問散髪、入所判定会、2施設輪投げ大会
5月	定例常会、法話、日帰り旅行、クラブ活動、誕生（慰問）、菖蒲湯	誕生会、端午の節句	
6月	定例常会、法話、ショッピング、クラブ活動、避難訓練、夏花苗植え、おやつ作り	父の日	訪問散髪、入所判定会、2施設スカットボール大会
7月	定例常会、法話、ショッピング、クラブ活動、不在者投票	誕生会、七夕	2施設輪投げ大会
8月	定例常会、法話（盆供養）、ショッピング、クラブ活動	お盆	訪問散髪、入所判定会、2施設スカットボール会
9月	定例常会、法話、ショッピング、クラブ活動、誕生会、敬老会、秋祭り	誕生会、敬老会、十五夜	入所者健康診断、職員健康診断
10月	定例常会、法話、ショッピング、クラブ活動、おやつ作り、運動会		訪問散髪、入所判定会、2施設輪投げ大会、職員交流研修
11月	定例常会、法話、紅葉ドライブ、クラブ活動、避難訓練、秋花苗植え	誕生会	2施設ペタンク大会、入所者インフルエンザ予防接種・胸部レントゲン撮影
12月	定例常会、法話、ショッピング、クラブ活動、クリスマス会、門松作り、生け花、冬至（ゆず風呂）	クリスマス会、冬至、年越し	訪問散髪、入所判定会
1月	新年挨拶、法話、クラブ活動、誕生会、初詣、どんどや	誕生会、元旦、七草粥	
2月	定例常会、クラブ活動、節分（豆まき）	節分	訪問散髪、入所判定会、入所者健康診断
3月	クラブ活動、不在者投票	ひな祭り	夜間職員健康診断

支援体制報告

今年度は、入所者の健康面では2月に3名の方がインフルエンザ発症、災害では台風の発生はあったが、施設の被害、入所者へのケガはなかった。また施設設備では階段昇降機設置により、階段昇降が困難な方でも2階での生活を問題なく送れている。昨年度と比較しても高齢化に伴う介護度の上昇は大きく、今年度4名の方の退所のうち3名の方が高介護化に伴う特別養護老人ホーム豊洋園への入居とされた。現在入所中の方においても28名の方が要介護認定を受けている状況であり、介護度上昇による特別養護老人ホーム等への入居を検討しなければならない方も出ている状況である。そのような中でも、入所者それぞれが安心して入所生活を送れるよう、食事、洗濯、入浴、排泄等の日常生活において必要な支援を実施した。

行事、活動においても日帰り旅行や紅葉ドライブといった園外での活動や、秋祭りや運動会といった地域との交流行事、2施設球技大会等の他施設との交流を通じ、入所者が園内だけではなく様々な場所や人と関わりをもっていけるよう、機会づくりに努めた。

現在、入所者50名、緊急入所者1名を含め51名であり、年度を通じ安定した入所率であった。令和2年度に向けて、入所待機者の確保等継続して課題は残っているため、入所者がこれまでと変わらず安心して穏やかに過ごせるように努めていきたい。

栄養管理事業報告書

	提供食数				非提供食数					
	朝	昼	夕	合計	デイ 利用 人数	入院	外出			合計
							朝	昼	夕	
4月	1,498	1,232	1,496	4,226	231	0	2	37	4	274
5月	1,494	1,226	1,492	4,212	238	46	9	39	12	344
6月	1,444	1,156	1,443	4,043	267	51	3	23	5	349
7月	1,516	1,179	1,516	4,211	317	64	1	21	1	404
8月	1,525	1,179	1,521	4,225	316	46	10	40	14	426
9月	1,446	1,156	1,446	4,048	278	80	4	16	4	382
10月	1,440	1,136	1,442	4,018	301	131	10	13	8	463
11月	1,409	1,099	1,407	3,915	289	96	4	25	6	420
12月	1,495	1,192	1,497	4,184	302	70	4	7	5	388
1月	1,519	1,190	1,519	4,228	279	31	31	33	31	405
2月	1,471	1,221	1,471	4,163	249	7	1	2	1	260
3月	1,550	1,263	1,550	4,363	288	31	0	0	0	319
合 計	17,807	14,229	17,800	49,836	3,355	653	79	256	91	4,434
							426			
前年実績	17,279	14,596	17,459	49,334	2,525	2,130	192	398	61	5,306
増 減	528	-367	341	502	830	-1477	-113	-142	30	-872
前年対比	103%	97%	102%	101%	133%	31%	41%	64%	149%	84%

食事レベルの低下に伴い、食形態の見直し及び制限食や付加食などを始め、看護師・相談員と連携を取りながら栄養管理や指導を行っている。また月に1回、献立検討会議を行い、献立の見直し・改善を行っている。

以前と変わらず誕生会を行ったり、お菓子や弁当を作ったりと、手作り料理や行事食を行っている。バイキングが好評であったので、今後も取り入れながら、選択食などを計画し入所者の方々に喜んで頂けるように努めていきたい。